

社会的孤立を支援する事業

令和5年度実施分 宮古市提案事業(自由提案型)

実施団体名:社会的自立支援共同事業体

協働対象部署名:保健福祉部福祉課

実施日(期間):令和5年4月～令和6年3月

解決したい課題(事業のテーマ)

- ①支援対象者の否定的自己観や他者への拒絶感の改善
- ②本人や家族が地域社会から孤立している状況の打開
- ③ひきこもりの人達への理解不足、偏見の解消
- ④支援対象者の体験不足の解消、無業状態からの脱却
- ⑤支援対象者に対する再教育・学びなおし

事業の目的と成果など

- 社会との関係から遠ざかっているひきこもりの人達が人間関係を再構築し、各種体験を通して自己評価を高めることで、孤立から抜け出す足掛かりを支援していくことを目的とする。



- 体験、交流への参加者が10名あり、モノづくりや農業等を体験する中で、自らが作り出していく達成感、そして有用感や自己肯定感が育まれ、視野が広がってきている。
- 今年度は33名の利用者があり、内6名が新規登録者。33名中、進学または就職決定者は3名。

事業の目的と成果など

農業体験①



農業体験②



シイタケ栽培



草刈作業



清掃作業



さをり織り



事業の目的と成果など

箱庭体験



木工体験



パソコン講習



料理体験



陶芸体験



利用者の集い



事業の経費

• 収入:2,352,752

(単位:円)

科目	R5年度予算額	R5年度決算額	増減	備考
委託料	2,333,600	2,333,600	0	
自己資金	0	19,152	19,152	

• 支出:2,352,752

(単位:円)

科目	金額	科目	金額	科目	金額
講師謝金	669,100	食糧費	6,900	手数料	16,865
講師旅費	49,000	印刷費	6,559	使用料及び賃借料	984,348
体験・交流会費	193,460	光熱水費・燃料費	169,830		
消耗品費	81,369	通信運搬費	175,321		

協働について

市との役割分担

【提案者】 対面・リモートによる相談、居場所、各種体験、
セミナー等の実施

【市】 相談窓口の周知や啓発活動、広報活動、提案事業
への助言、他団体への働きかけ

今後の展望について

*課題(スライド2)の現状について

- ・ひきこもりの長期化・高齢化が進み、家族も地域社会から孤立することで、多くの潜在的対象者が存在すると思われる。
- ・8050問題が現実化しているが、ひきこもり当事者の居場所、そして適切な体験活動の場が少ない。

*これからの事業について

- ・中学卒業後及び高校中退者を中心にした孤立(若年層のひきこもり)の防止に努めたい。
- ・潜在的対象者の掘り起こし、並びに体験活動への参加者の増加を目指して、SNS等も活用しながら事業の内容を分かり易く情報発信して行きたい。